

“敗戦 80 周年”

非核・平和を祈念する



「核兵器禁止条約」が国連で 122 か国の賛同を得て採択（2017 年 7/7）されてから 8 年、条約発効から 4 年になりますが、いまだに核兵器禁止条約に反対し今年 3 月の締約国会議にオブザーバー参加すらしない日本政府。

7 月の参議院選挙では、自公与党の過半数割れは裏金政治・統一教会との癒着問題を自浄作用すら発揮できない自民党の自壊作用ですが、なぜか有権者の一部は「核武装は安あがり」と声高に叫ぶ女性候補の多い政党に多大な議席を与えました（13 議席増やして参院で 14 議席）。発議権も得て「スパイ防止法も発議できる」と息巻いています。

世界の覇権（崩壊しつつある）国家アメリカ大統領による“トランプ関税・トランプ外交”でショックドクトリンが実行され世界中が経済も軍事も大混乱、混とんとしています。

ガザではイスラエルによるジェノサイドで死者は 6 万人以上になり、その犠牲者の半数が子供であり女性なのです。ガザはイスラエルによって封鎖され国連の人道物資も入れさせず餓死者も続出。病院も学校も食料配給場所をも狙ってミサイルを砲弾を撃ちこむ人間の世とは思われない行為が行われている・・・

ウクライナへのロシアの侵攻でいまだに戦争が終わりを見せない。それどころか毎日死者が増えている。



ガザでの「ジェノサイド」

“殺すな！” いつも殺し殺され死ぬのは庶民・大衆なのです。

“永遠平和のために” ギリシャ時代からそしてカントへと多くの人々が平和を希求しているのに実現できません。世界に蔓延する狭隘なナショナリズムと排外主義そしてポピュリズムのなかでの軍拡の大きなうねりですが・・・

しかし軍拡を主張する者の要である「核抑止論」の破綻が、今年の核兵器禁止条約締約国会議の中の議論で明らかにされました。（進行役オーストリアによる報告）

核抑止論の誤り

○ “核抑止論が核兵器の実際の使用の威嚇と世界的に壊滅的な結果をもたらすリスクに基づき、それに依存している” ことへの懸念。

○ 核兵器の爆発がもたらす人道上の結末は重大であり人類存亡にかかわりうると結論付ける。更に故意・不注意・偶発的な使用のリスクは相当なものであり、決して無視できるものではない。…その結果核兵器はすべての人の安全を脅かすものでありこのようなパラダイムからの脱却が急務である。

○ 核抑止論は “関係者が予測可能かつ慎重に行動し核エスカレーションや大量虐殺的及び自殺的な結末を回避または制御できるという前提” に立っている。同時に核抑止論の支持者は核抑止がすべての行為者の「合理的」かつ願わくば「責任ある」行為につながるため核抑止が機能すると主張する。・・・まさにその論法は循環論法でありきわめて重大な結果を招く前提に過ぎない。

と。

市民による「非核・平和を祈念する市民の集い」が今年も催

されました（第18回、2025年8/6・9）

広島に原爆が投下された8/6は、総合福祉保健センター入口にある“被爆した広島市庁舎敷石モニュメント”の前で開催されました（約90人の参加）。

女子高校生による「鎌ヶ谷市非核平和都市宣言」と峠三吉の「原爆詩集」序の朗読で始まり、原爆投下時刻8:15に1分間の黙とうをしました。市長のメッセージと参加議員の挨拶、そして市民の平和への思いが語られました。



広島被爆敷石モニュメント

第1回目の市民の集いから中心的に活動してきた渡辺さんからは「総合福祉保健センターの前の広島市から送られた被爆敷石モニュメントの前で何も行われていないのはかわいそう、おかしいという思いから高宮さん、中根さん、周りの市民と市議そして折鶴会の小中さん等と非核平和を祈念する市民の集いを始めた時の様子」が語られました。

今年は千羽で始まった折鶴も100歳から小さなお子さんまで多くの方々によって8000羽を超える千羽鶴を飾ることができました。

女子高校生による「一本の鉛筆」の独唱（河内夏美さんのピアノ伴奏）の後、花束が小学生の女の子の手で捧げられ、参加者もそれぞれ献花をし広島に心を寄せ非核と平和の思いを形にしました。

8/9は11:02に黙とうを。細貝千鶴子さんが非核平和都市宣言・峠三吉の詩の朗読をしました。最後に男子高校生による「長崎の鐘」の独唱と小学生など小さなお子さん3人での花束が「かたぐるま」像の前に捧げられました。この日も90人からの市民が参加し献花しました。



「非核平和都市宣言」朗読



「原爆の子さだ子の願い」



渡辺さんと

当日のあいさつで語られたことは

- ① 「核武装は安上がり」という発言をした人の政党が多く国会議席を得ている異常さへの問題点の指摘
- ② しかし世界の人々は核兵器禁止条約ができる前からラテンアメリカ・中央アジア・アフリカ・南太平洋・東南アジアで「非核地帯条約」を作り核兵器廃絶に向け動いている。
- ③ 4000度の熱線と爆風で広島で14万人・長崎で7万人がなくなり、その後も放射能による健康被害で被爆された人の多くの方がなくなったり苦しい生活を強いられました。それが非人道的核兵器の実態なのです。

「一発たりとも持ってはいけない」「核兵器は人類と共有できない、共有させてはいけない」（被団協田中さんの講演）のです。

平和への希求と核兵器をこの世界からすべてなくしたいという心からの思いを8/6・8/9の集いで市民は思いを形に表しました。あきらめず一歩でも半歩でも歩みましょう。

＊「民主主義と自治そして平和主義」藤代政夫 047-445-9144